

4歳児 山組

七夕のあつまりを幼稚園の子どもたち皆と楽しみました。その日までに七夕のお話に触れたり、願いを込めながら、笹飾りをつくったりしてきました。はさみでいろいろな切り方を楽しんだり、絵具でスタンプを楽しんだりしました。はさみの扱いも慣れてきて、好きな遊びの時間には、直線だけでなく、思い思いの形に切ってみようと、曲線に挑戦する姿も増えており、成長を感じています。あつまりの後には、みんなでスイカを食べたり、年長組の遊びに入れてもらったりしました。年長組が考えた光の遊びに思わず「すごい！」と、年長組への憧れが増した様子です。

7月に入ったころは、雨が続きましたが、梅雨が明けると、一気に夏の日差しになり、水遊びが気持ちよくなりました。最初は顔に水がかかることを怖がっていましたが、水の生き物になり水に親しむうちに、どんどん水と仲良くなっていきました。1学期、遊びを通して様々なことを経験し楽しさを味わってきました。2学期も友達と「やってみよう！」と、いろいろな気持ちを経験して欲しいと願っています。

「雨降り散歩に行こう！」



水たまり、じゃぶじゃぶ
楽しいね！

「七夕のあつまりを したよ」



短冊の模様をつけよう！
お星さま、いっぱいいいね



お星さまに見えるところに
飾ろうか！



おいしいケーキだよ！

「水遊びだ！」



スイカおいしいね
タネが落ちた！
スイカ畑になるかな

暑い日が続き、泡遊びや土粘土など、触りがきもちよい遊びが楽しくなってきました。土粘土では、重たさや冷たさなどの感触だけでなく、身近なものに見立てて遊んだり、本物みたいにしようと指先を使って小さいものを丸めたり伸ばしたりして遊ぶ姿が増えてきました。



「土粘土 気持ちいいね」



カエルになって
ピョン！